

2023（令和5）年度 福岡女子大学 外国人留学生選抜

〔 一般選抜試験問題 〕

食・健康学科

小論文

【 60 分 】

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 問題は4ページから6ページにあります。問題は全部で**1題**です。
- 3 解答用紙には裏に英語用の解答欄があります。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験開始と同時に解答用紙の**受験番号欄に受験番号を記入**してください。
- 6 試験終了後、**問題冊子は持ち帰ってください**。

問題訂正

訂正箇所	4 ページ 下から 4 行目
誤	<p>図 1 は、たんぱく質を<u>多く含む食品</u>の GHG 排出量を、たんぱく質 100g 当たりの量で比較したものである。</p>
正	<p>図 1 は、たんぱく質を<u>含む食品</u>の GHG 排出量を、たんぱく質 100g 当たりの量で比較したものである。</p>

問題 日本における、歯・口腔の健康についての資料1～2を参考に、「8020 運動」を行うことで、どのようなことが期待されるか、300字以内で述べよ。
(英語で解答する場合は、150 words 以内で述べよ。)

資料1

8020 運動とは ^{*a}

「8020 (ハチ・マル・ニイ・マル) 運動」は、「80 歳になっても自分の歯を20 本以上保とう」という運動です。平成元年 (1989 年) に厚生省 (当時) と日本歯科医師会が提唱して開始されました。

8020 運動が提唱される以前、「一生自分の歯で食べよう」という標語¹⁾ がよく使われていましたが、「8020」は、これを「数値目標化」したものといえます。

「80」は、提唱当時の日本人の平均寿命 (平成元年 (1989 年) 簡易生命表) が男性 75.9 歳・女性 81.8 歳でしたので、男女合わせた平均寿命に相当します【注】。
(中略)

一方「20」は「自分の歯で食べられる」ために必要な歯の数を意味します。今までに行われた歯の本数と食品を噛む^か (咀嚼^{そしゃく}) 能力に関する調査によれば、だいたい 20 本以上の歯が残っていれば、硬い食品でもほぼ満足に噛めることが科学的に明らかになっています。

【注】現在の平均寿命 (平成 30 年 (2018 年) 簡易生命表) は、男性 81.3 歳・女性 87.3 歳と、「80」を大きく上回るようになりましたので、8020 運動は「80」をゴールとする捉え方から、より健康な高齢期を過ごすための運動という意味合いに変化しつつあります。

資料2

口腔の健康状態と全身的な健康状態の関連 ^{*b}

口腔の疾患^{しっかん}はさまざまな全身疾患と関連していることが報告されており、口腔の健康状態は全身的な健康状態と密接な関連があります。そのため、口腔の健康状態を維持、改善するための歯科治療は、全身的な健康状態の維持にとって欠かせないものと考えられます。

口腔の疾患と全身疾患との関連

代表的な口腔の疾患にはう蝕^{しよく} (むし歯) と歯周病があります。特に歯周病はさまざまな全身疾患と関連していることが報告されています。なかでも歯周病

と糖尿病との関連はエビデンスが高いものとして知られています。(中略)

その他にも²⁾、歯周病は、心疾患^{しんしつかん}や慢性腎臓病^{まんせいじんぞうびょう}、呼吸器疾患^{こきゅうきしつかん}、骨粗鬆症^{こつそしょうしょう}、関節リウマチ、悪性新生物(がん)など、さまざまな全身疾患と関連していることが報告されています。それらのなかにはエビデンスが十分ではないものもありますが、いずれにしても、歯周病を治療することにより口腔の健康を維持することは、全身の健康維持にとっても重要であるといえるでしょう。

高齢者の口腔の健康と全身の健康の関連

高齢者では、う蝕や歯周病などによって多くの歯を失うことで咀嚼機能や嚥下^{えんげ}³⁾機能といった口腔の機能が低下し、食生活に支障をきたして十分な栄養が摂れなくなると低栄養のリスクが高まります。高齢者の低栄養は、筋肉量の減少によるサルコペニア⁴⁾やロコモティブシンドローム⁵⁾につながり、要介護となるリスクを高めます。そこで、高齢者の口腔機能低下のリスクに対応するために、咀嚼機能や嚥下機能などの口腔機能の状態を評価する口腔機能検査が、歯科医療機関や後期高齢者⁶⁾の歯科健診で広く行われるようになってきました。口腔機能の低下が疑われる場合は、適切な歯科治療や口腔機能を向上させるためのトレーニングを行うことで、口腔機能の改善を図り、全身の健康維持に努めることが望まれます。

1) 標語：主義・主張・信条などを簡明に言い表した短い語句。(新村出編 広辞苑 第六版、2008年、岩波書店、東京 問題作成のため抜粋、一部改編)

2) その他にも：「糖尿病の他にも」として解答せよ。

3) 嚥下：のみくだすこと。(新村出編 広辞苑 第六版、2008年、岩波書店、東京 問題作成のため抜粋、一部改編)

4) サルコペニア：高齢になるに伴い、筋肉の量が減少していく現象。(厚生労働省 「生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット 健康用語辞典 身体活動・運動 サルコペニア」
<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/exercise/ys-087.html> 2022年10月13日取得 問題作成のため抜粋、一部改編)

- 5) ロコモティブシンドローム：骨や関節の病気、筋力の低下、バランス能力の低下によって転倒・骨折しやすくなることで、自立した生活ができなくなり、介護が必要となる危険性が高い状態。(厚生労働省 「生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット 健康用語辞典 身体活動・運動 ロコモ度テスト」

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/exercise/ys-21-07.html> 2022年10月13日取得 問題作成のため抜粋、一部改編)

- 6) 後期高齢者：国連の世界保健機関（WHO）の定義では、65歳以上の人のことを高齢者としている。65-74歳までを前期高齢者、75歳以上を後期高齢者と呼ぶ。(厚生労働省 「生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット 健康用語辞典 飲酒 高齢者」

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/alcohol/ya-032.html> 2022年9月22日取得 問題作成のため抜粋、一部改編)

出典

- *a 厚生労働省 「生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット 歯・口腔の健康 総論 8020 運動とは」

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/teeth/h-01-003.html>

2022年9月7日取得 問題作成のため抜粋、一部改編

- *b 厚生労働省 「生活習慣病予防のための健康情報サイト e-ヘルスネット 歯・口腔の健康 総論 口腔の健康状態と全身的な健康状態の関連」

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/teeth/h-01-006.html>

2022年9月7日取得 問題作成のため抜粋、一部改編